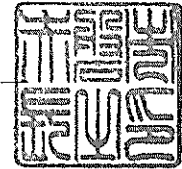




赤 建 第 34 号
平成 19年 5月 8日

国土交通省道路局長 殿

赤磐市長 荒 嶋 龍



中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあったこのことについては別紙のとおりです。

中期的な計画の作成にあたって

・はじめに

赤磐市の道路は、山陽自動車道に加えて東西軸2本、南北軸4本の基幹となる国県道の道路網で形成されており、更に中国自動車道と山陽自動車道を結ぶ美作岡山道路や広域農道、岡山市と連絡する道路の4車線化も着々と整備が進んでいます。

合併して市域が拡大したことから、基幹道路と市内の拠点を結ぶ幹線市道を地方道整備事業や地域再生基盤強化交付金事業を採択していただき整備を進めており、4年先には必ず道が完成すると聞き、合併の効果を実感したところでもあります。

・必要とする道の姿は

- 1) 広域的観点から都市間の交流・連携を図るため、広域的な網の目の道路（南北、東西の基幹軸）が必要である。市内においては中心部の環状道路と外周部の環状形道路を整備する。
- 2) 工業団地など開発地域よりインターチェンジまで30分以内を目指す。
- 3) 空港へのアクセス道路を整備する。

・優先して進めたい施策

- 1) 合併による市域拡大に伴う、市内移動を容易にするための周辺部から中心市街地への道路整備を行う。
- 2) 幹線道路の交差点改良を行い、渋滞を緩和する。
- 3) 自転車・歩行者が安心して通行できるよう、歩道を整備する。
- 4) 高速道路の高架下を利用した「パークアンドバスライド」が非常に好評であり、拡張を計画しています。地域のために積極的に開放していただき、公共交通への支援をお願いしたい。（規制が多く時間がかかっているのが現状です。）

・効率的に進める観点は何か

- 1) 市内の道路交通に関する課題を早期に解決するため、財源を移譲もしくは特別枠で一括補助していただき、地方の自主的な裁量で、災害防除、道路補修、交通安全施設等の速効対策を行うことが必要である。
- 2) 高速道路通行料金を引き下げる。市内通過車両を半減させ、交通渋滞の緩和・沿道環境の改善が必要である。

以上